

長松小の合言葉 な なかよく か がんばる ま 学び合う こ 積み重ねる



ながまつ通信 21号

長松小
学校通信
2026. 6. 9

日本で最古の水田跡がある「菜畑遺跡」でしっかり学習しました！

5年生が、5月20日（水）に、末盧館に見学に行きました。歴史的にも貴重な遺跡が歩いて行ける場所にあるなんて、長松小はすごいですね。菜畑遺跡は、皆様御存知のように、日本最古の水田跡が見つかった全国にも誇れる史跡です。当時の土器や石器なども一緒に発見されています。また、水田の水口からはブタの下顎の骨が発見されており、当時の人々が水田・畑作と家畜を組み合わせた生活をしていたことが分かっています。



児童は、見学の中で「炭化米のこと」や「豚を飼育していたこと」、「昔の農機具」、「高床式倉庫」のことなど多くのことをワークシートにまとめていました。

菜畑遺跡の発掘により、日本で最も古い縄文時代晩期（約2600年前）に稲作が行われていたことが判明しました。これにより、稲作は弥生時代に大陸から伝わったという従来の定説が覆り、日本人の主食である米作りはすでに縄文時代に始まっていたことが証明されました。国の史跡にも指定されている非常に重要な場所です。



もともと私たちの住んでいるこの地は、「末盧国」と呼ばれていて、中国の歴史書「三国志」の中の「魏志倭人伝」にもその名が出てきています。吉岐から海を渡った魏の使者が最初に上陸した地として描かれ、海人文化・交易・豊かな自然環境をもつ地域として記録されています。そんな土地で教育できていることにロマンを感じますね。これを機に歴史に興味を持つ児童が増えてくれることを願っています。